

第3学年進路通信 ②

H27.10.5

指定校制推薦 校内内定ほぼ出揃う

ご案内のとおり、私立の大学・短期大学・専門学校につきましては、「指定校制推薦」という制度があります。本校では8月中旬に情報を取りまとめ、2学期が始まるのを待って、9月1日に一斉に校内募集を開始しました。

今年度は本校に対して、大学が121校、短期大学が25校、専門学校が66校、それぞれ指定校制推薦枠を提示しました。これら多くの推薦枠は、これまでの先輩たち（伊勢崎東高校時代にまで遡って）が努力してきた結果、いただいたものと考えられます。有り難く利用させていただき、さらに後輩たちにとって充実したものとなるよう、頑張っていく必要があります。

さて、募集した結果、次のとおりとなりました。

◇応募数・・・合計 35 校

大学 26 校、短期大学 3 校、専門学校 6 校

◇校内内定人数・・・合計 68 名

大学 49 名、短期大学 8 名、専門学校 11 名

内定を受けた諸君が、伊高入学以来、継続して、毎日の課題への取り組み、小テストや定期考査での頑張り、部活動での活躍、学校行事への関わり、等々、**文武両道を成し遂げるべく、多方面にわたって努力してきた結果**が、形となってあらわれたのだと思います。大いに自信を持ってよいと思います。

加えて、諸君が自分自身の特性をよく考え、御両親と深く話し合い、進路についてご理解をいただき、**大いなる決断をした結果**でもあります。その意味で御両親に感謝し、次は、諸君が将来授かるであろう愛する子どもたちに対しても、同じように良き理解者であるよう、頼れる人間に成長してほしいと思います。

生徒諸君は、書類を隅々まできちんと読み、もれなく出願手続きをしてください。出願先によって様々な違いがありますので、学級担任の先生としっかりと連絡を取り合って間違いの無いよう、細心の注意を払ってほしいと思います。

選考方法についてもそれぞれ違いがあります。書類選考のみで面接さえも課さないところがあるかと思えば、書類選考・面接以外に小論文と学力試験を課すところもあります。校内内定を受けたとはいえ、決して気を緩めることなくしっかりと準備をして臨みましょう。

大学・短大は、試験を11月中旬に実施するところがほとんどで、合格発表は遅いところでも12月9日。専門学校は10月中旬に選考、合格発表を行うという日程になっています。したがって、年内には合格の吉報を手にし、ゆったりとした年越しができるということになります。

一つの大きな目標を達成したならば、さらに、本校卒業までにどのようなことができるか、諸君なり



に考えてみる
ことが大
切です。小
さな目標で
もよいと思
います。や
やもすると
緊張感が抜
けてしまい

かねない日々の生活に、張りを作り出すようなものを設定し、実行に移していきましょう。**その心がけが、最後まで進路開拓へと邁進する伊高の仲間たちにとって、大きな成果をもたらすことになる**と信じています。

出願先を見てみると、内定した68名中29名の諸君は、これまで長く過ごしてきた自宅をあとにし、来春からは慣れない土地での生活が始まると思われます。**新生活に向けての準備も着々と進める必要がある**でしょう。

まずは、住みかをどこに定めるかでしょう。年次進行によってキャンパスが変わる大学を志願している生徒もいるようです。先々のことも考えながら、最適なところに決められるとよいですね。学ぶところは大学ですが、おそらく大学からそれほど遠くないところで生活もするわけですから、大学がどのような街に在るのかということは気になる点です。いづれにしても、様々な角度からシミュレーションをし、念入りに下見をした上で、決定してほしいと思います。これが、年明け早々にも実行しなければいけない最重要事項です。